

平成30年9月定例会

予算決算委員会会議録

長 崎 県 議 会

目 次

(10月3日)

1、開催日時・場所	1
2、出席者	1
3、付議事件	2
4、経過	
分科会長報告	2
採決	5
5、審査結果報告書	7

平成30年9月定例会 予算決算委員会日程（結果）

月日	曜	内 容 等
9月25日	火	分科会・常任委員会
9月26日	水	分科会・常任委員会
9月27日	木	分科会・常任委員会
9月28日	金	分科会・常任委員会
10月3日	水	委員会（分科会長報告・採決）

10月3日

(分科会長報告・採決)

1、開催年月日時刻及び場所

平成30年10月3日	〃	中島 浩介 君
自 午前11時00分	〃	大久保潔重 君
至 午前11時15分	〃	ごうまなみ 君
於 本 会 議 場	〃	松本 洋介 君

2、出席委員の氏名

委 員 長	高比良 元 君	〃	山本 由夫 君
副 委 員 長	山本 啓介 君	〃	宅島 寿一 君
委 員	宮内 雪夫 君	〃	麻生 隆 君
〃	八江 利春 君	〃	山口 経正 君
〃	三好 徳明 君	〃	近藤 智昭 君
〃	田中 愛国 君	〃	坂本 浩 君
〃	小林 克敏 君	〃	里脇 清隆 君
〃	吉村 庄二 君	〃	吉村 正寿 君
〃	中山 功 君	〃	大場 博文 君
〃	橋村松太郎 君	〃	宮本 法広 君
〃	渡辺 敏勝 君	〃	高橋 勝幸 君
〃	坂本 智徳 君		
〃	瀬川 光之 君		
〃	中島 廣義 君		
〃	徳永 達也 君		
〃	山田 博司 君		
〃	久野 哲 君		
〃	下条ふみまさ 君		
〃	外間 雅広 君		
〃	堀江ひとみ 君		
〃	中村 和弥 君		
〃	山田 朋子 君		
〃	浅田眞澄美 君		
〃	西川 克己 君		
〃	川崎 祥司 君		
〃	前田 哲也 君		
〃	深堀 浩 君		

3、欠席委員の氏名

委 員	野本 三雄 君
-----	---------

4、委員外出席議員の氏名

溝口 芙美雄 君

5、県側出席者の氏名

総 務 部 長	古川 敬三 君
企 画 振 興 部 長	柿本 敏晶 君
県 民 生 活 部 長	木村伸次郎 君
福 祉 保 健 部 長	沢水 清明 君
こども政策局長	園田 俊輔 君
産 業 労 働 部 長	平田 修三 君
水 産 部 長	坂本 清一 君
農 林 部 長	中村 功 君
土 木 部 長	岩見 洋一 君

教育委員会教育長	池松 誠二 君
教育次長	本田 道明 君

議会事務局職員出席者

議会事務局長	木下 忠 君
総務課長	高見 浩 君
議事課長	篠原みゆき 君
政務調査課長	太田 勝也 君
議事課課長補佐	増田 武志 君
議事課係長	小村あゆみ 君
議事課係長	梶谷 利 君
議事課主任主事	天雨千代子 君

6、付議事件の件名

第107号議案

平成30年度長崎県一般会計補正予算（第2号）

第108号議案

平成30年度長崎県国民健康保険特別会計補正
予算（第1号）

7、審査の経過次のとおり

— 午前11時00分 開会 —

【高比良委員長】ただいまから、予算決算委員会を開きます。

これより議事に入ります。

まず、本日の委員会の会議録署名委員を慣例により、私から指名させていただきます。

会議録署名委員は、徳永委員、松本委員の両人をお願いいたします。

それでは、本委員会に付託されました、第107号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第2号）」ほか1件を議題といたします。

これより各分科会長から審査結果の報告を求

めます。

まず、総務分科会長の報告を求めます。

大場総務分科会長。

【大場総務分科会長】総務分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第107号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第2号）」のうち関係部分であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で、総務分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【高比良委員長】次に、文教厚生分科会長の報告を求めます。

近藤文教厚生分科会長。

【近藤文教厚生分科会長】文教厚生分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第107号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第2号）」のうち関係部分ほか1件であります。

慎重に審査いたしました結果、第108号議案「平成30年度長崎県国民健康保険特別会計補正予算（第1号）」につきましては、起立採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

その他の議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告いたします。

第107号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第2号）」のうち関係部分について、まず、「地域子供の未来応援交付金事業費」に関し、「本県の子どもの生活に関する実態調査に取り組むとのことであり、調査対象は高校生も

含むべきと考えるが、どのように計画しているのか。また、アンケートの回収率や回収方法はどのような想定をしているのか。」との質問に対し、「現在の計画では、中学2年生と小学5年生を調査対象としている。高校生まで範囲を拡大することについては、実施方法を含め、今後検討していきたい。また、回収率は75%を想定しており、他県の先行事例等を参考に設定している。回収については、各市町で効果的な方法を判断し、実施することとなる。」との答弁がありました。

次に、「児童虐待防止・支援体制強化事業費」に関し、「児童養護施設等のICT化について、すでに取り組んでいる児童養護施設等の事業効果をどのようにICT化が進んでいない事業所へ周知しているのか。」との質問に対し、「児童養護施設の各種会議等を通じて、ICT化による効果を説明してきたところである。今後も、児童養護施設等の職員の負担軽減に向け、ICT化の普及啓発に取り組んでいきたい。」との答弁がありました。

次に、第108号議案「平成30年度長崎県国民健康保険特別会計補正予算（第1号）」について、「歳出科目について、国民健康保険法施行規則では詳細に区分されているものの、本県では、款、項、目が1項目しか設定されていないため、分かりづらいとの意見があるが、どのように考えるか。」との質問に対し、「平成29年10月の厚生労働省通知に基づき、本県では現状の科目設定をしたところであるが、ご意見を踏まえ、今後、研究していきたい。」との答弁がありました。

以上のほか、文教厚生関係予算全般にわたり、熱心な議論が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、文教厚生分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【高比良委員長】次に環境生活分科会長の報告を求めます。

里脇環境生活分科会長。

【里脇環境生活分科会長】環境生活分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第107号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第2号）」のうち関係部分であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、起立採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以下、本分科会で論議のありました事項について、ご報告申し上げます。

「災害対策に係る事業費」に関し、「本年6月から7月の集中豪雨及び台風7号の被害に伴う対策工事及び崩落の危険性が高まった急傾斜地の防災対策についての補正とのことであるが、今回の補正により、災害被害の対応は十分できているのか。」との質問に対し、「今回の補正予算では、緊急性が高いと判断される箇所を計上しており、不足する部分については、今後の補正予算及び来年度の当初予算等で対応していきたいと考えている。」との答弁がありました。

次に、「債務負担行為」に関し、「石木ダムの事業進捗を図るための付替県道工事について、現在の進捗状況はどうか。また、完成時期はいつ頃を予定しているのか。」との質問に対し、「今年度の現契約分の工事については、50%程度の進捗であり、工期は来年1月末までを予定している。なお、予算の状況にもよるが、現在進めている1工区全体については、来年度に完成の予定である。」との答弁がありました。

次に、「消費者行政活性化事業費」に関し、

「このタイミングで補正予算を計上するに至った背景は何か。」との質問に対し、「消費者行政については、国からの交付金を活用し、年度当初の内示に基づいて、県及び各市町において推進を図っているところであるが、今回、国から追加要望の調査があり、市町の要望を取りまとめた上で要望を行い、追加交付を受けることとなったものである。」との答弁がありました。

これに対し、「具体的には、どのような事業を展開するのか。」との質問に対し、「県においては、民法改正に伴う成年年齢引き下げにより、若年者の消費者被害の増加が懸念されることから、市町や学校と連携し、消費者教育を推進するための環境整備を行うほか、市町においては、相談員の研修受講や啓発物資の作成等に活用するものである。」との答弁がありました。

以上のほか、環境生活関係の補正予算に関し、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、環境生活分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【高比良委員長】次に農水経済分科会長の報告を求めます。

山口農水経済分科会長。

【山口農水経済分科会長】農水経済分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第107号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第2号）」のうち関係部分であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告いたします。

まず、「洋上風力発電関連産業創出促進事業費」

に関し、「洋上風力発電における県事業費の総額は、将来的なものも含めてどの程度か。また、この新産業を県内に取り込み、県内企業が事業に参加することにより、製造業を牽引する戦略のようだが、県の関わりをどのように考えているのか。」との質問に対し、「5年間の事業費で、国と県を合わせて約14億円程度と想定している。現在、県・産業界・大学等が連携し、協議をしながら、数年間にわたっての事業計画を検討している。引き続き県としてリーダーシップを取りながら、この新産業を推進していきたい。」との答弁がありました。

次に、「浜の魅力発信・漁業就業促進総合支援事業費」について、「本事業は、新規就業者の確保育成を図るための研修等経費とのことだが、その仕組みや漁業協同組合との関わりはどのようなになっているのか。」との質問に対し、「研修生を受け入れるにあたっては、各市町と漁協等で構成する担い手協議会において、受け入れるかどうかを協議した上で、研修生に支援をする仕組みとなっている。」との答弁がありました。

次に、「ため池等整備費」について、「以前、ため池については点検を実施していたと思うが、その結果はどうだったのか。また、今回の補正予算との関係はどのようなになっているのか。」との質問に対し、「平成25年度から27年度の点検では、改修が望まれるため池が105箇所あった。そのうち、今回の豪雨被害関連の国の予備費を活用し、災害防止対策を前倒しで実施することとなったため、補正予算を計上したものである。」との答弁がありました。

これに対し、「災害があってから事業を実施するのではなく、必要な箇所については予算付けをするよう、しっかり国に要望すべきではないのか。」との意見があり、「計画的に整備が

進むよう、国へ伝えてまいりたい。」との答弁がありました。

以上のほか、農水経済関係予算全般にわたり、熱心な論議が交わされましたが、その詳細につきましては、この際、省略させていただきます。

以上で、農水経済分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【高比良委員長】ありがとうございました。以上で、各分科会長の報告が全て終了いたしました。

お諮りいたします。

各議案は、質疑・討論を省略し、直ちに採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【高比良委員長】ご異議なしと認めます。

よって、直ちに採決いたします。

まず、第107号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第2号）」について、採決いたします。

本議案は、各分科会長報告のとおり決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成委員起立〕

【高比良委員】起立多数。

よって、第107議案は、原案のとおり、可決すべきものと決定されました。

次に、第108号議案「平成30年度長崎県国民健康保険特別会計補正予算（第1号）」について採決いたします。

本議案は、分科会長報告のとおり決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成委員起立〕

【高比良委員長】起立多数。

よって、第108号議案は、原案のとおり、可決すべきものと決定されました。

以上で、当委員会に付託されました議案の審

査は終了いたしました。

これをもちまして、9月定例会における予算決算委員会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

- 午前11時15分 閉会 -

平成30年10月定例会 予算決算委員会付託議案一覧表

区 分	議案番号	案 件 名	分科会審査			
			総務	文教 厚生	環境 生活	農水 経済
予算議案	第 107 号	平成30年度長崎県一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○
	第 108 号	平成30年度長崎県国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		○		

予算決算委員会審査結果報告書

本委員会に付託された事件について審査の結果、下記のとおり決定したので報告する。

平成30年10月3日

予算決算委員会委員長 高比良 元

議長 溝口 芙美雄 様

記

1 議 案

番 号	件 名	審査結果
第 107 号 議 案	平成 3 0 年度長崎県一般会計補正予算 (第 2 号)	原案可決
第 108 号 議 案	平成 3 0 年度長崎県国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号)	原案可決

計 2 件 (原案可決 2 件)

委 員 長 高 比 良 元

副 委 員 長 山 本 啓 介

署 名 委 員 徳 永 達 也

署 名 委 員 松 本 洋 介

書 記 小 村 あ ゆ み

速 記 (有)長崎速記センター